

この号にはさらに、小学校一年生の教師が、幼稚園から来た子どもをどのように評価しているかについて簡単な調査をした結果が報告されている。二十六州の一五〇名の小学校一年生の担任教師に質問紙が送られ、社会的情緒的適応、身体発達と健康、学習のレディネス、親と学校との関係の四項目について、幼稚園から来た子どもの方が、幼稚園を経なかった子どもよりも状況が非常によい、ややよい、まったくかわらないというような三段階評価がなされた。その結果は学校による相違がかなりあるが、全体してみると、幼稚園から来た子どもの方が状況がよい。すなわち、相異がないと評価したのは1—4%、幼稚園から来たものの方が非常に状況がよいとするもの51—59%、ややよいとするもの40—46%である。

四月号は、「時間の調和がなければならぬ」という特集である。ある幼稚園の教師は、われわれはいつか何のために忙がしいのかと述懐する。早く手を洗いなさい、早

く用意をしなければと云って、その次に来るのは休息とおやつであるとは何という矛盾であろう。休むためにいそぐとは。もうひとつお話ししてとせがまれるとき、今日は時間がないから明日にしましょうという。しかし明日も今日と同じように時間がないことはわかっているのだ。そこでこの教師たちは「ゆっくりとやる運動」をはじめた。誰も子どもをせかささない。それはなんと楽しい一日だったことよ。その結果何の不都合も出てこなかった。時間は子どもの動きに合わせてゆけばよい。

他方、教師の過す時間をもう一度注意深く検討してみなければならない。一日の時間を休息と、職業生活を満足に過ごすための時間と、個人生活を満足に過ごすための時間とにわけてみよう。それだけの時間を過ごすということは、自分をそれだけのことに使っているということである。だからもっと賢明な時間のバランスを考える必要がある。

幼児の教育 第五十七巻 第四号

四月号 © 定価 五十円

昭和三十三年三月二十五日印刷

昭和三十三年四月 一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼

発行者 津 守 真

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社フレールベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌ご購入についてのご注文は発売所フレールベル館にお願いいたします。